

注意事項とお願い

1. 装備について

スタート前に **AR 日本橋オリジナル規定(*)** を含めた下記6点の装備を確認のうえ、スマホ・デジカメにより下記のご自身の装備を撮影して下さい(写真のアップロードはゴール後で可)。

- 1) **前照灯 2 灯***
 - 2) 尾灯(常時点灯式のものとし点滅式や反射式は不可とする)
 - 3) ベル
- 注) 以上は常時自転車に固定して装着されたのものとする
- 4) ヘルメット
 - 5) 蛍光色の反射ベスト(**反射たすき、反射肩掛けベルト、非反射部の生地面積の半分以上が蛍光色ではない反射ベストは不可***)

注 1) 反射ベストは常時着用のこと。リュックなどを背負う場合は体に着用したベストの他に、リュックにも反射ベストか三角反射材を付けること。

注 2) 蛍光色は、イエロー、オレンジ、グリーン、レッド、ピンク、イエローグリーン、オレンジレッド、イエローオレンジの 8 色に限る。

- 6) ヘルメット尾灯(点滅可)

2. 新型コロナウイルス感染症防止策(2023/3/26 改訂)について

HP 掲載の「[新型コロナウイルス感染症防止策 2023/3/26 改訂](#)」の 2. の防止策を遵守して下さい。

レポート 1 (坂東 司) 前半部 9/30(土)、後半部 9/16、17(土、日)

諸般の事情によりスタートからゴールまで通しての試走ができませんでした。とくに軽井沢から新潟までの後半 300km は、2 日間かけての下見ライドの内容となっております。

コースは軽井沢までの前半は少々きつく、後半は妙高高原へのクライムを除くと下りと平坦の比較的楽なコースです。ホテルへ宿泊する場合は、軽井沢周辺はビジネスホテルが少なく、かつ宿泊費が高額なので、佐久か小諸が良いと思います。

当方、AR 日本橋ギリギリ隊・主席なので、皆さんはもう少し余裕をもって走れると思います。

A. 前半部(スタート - 軽井沢)

0. 試走日 : 2023/9/30(土)

1. 気象条件

- ・中央区日本橋 曇り 23℃
- ・相模湖 小雨 23℃
- ・甲府 晴れ 30℃
- ・新和田トンネル 小雨 17℃
- ・佐久 曇り 19℃

2. 全般

初日に長く走る N20 は数は多くないものの終始、大型トラックが散見されるので注意して下さい。笹子、富士見、新和田トンネル、笠取峠の 4 のクライムがあり気が抜けにくいコースです。

3. 区間ごとの感想と注意点

(1) Depart(日本橋小網町)~PC1(大月) 区間距離 : 91.8km

N20 は 23 区外から立川までの区間の路肩が狭く危ないため、東八道路(D14)を辿っています。

東八道路は信号ストップが多い道ですがご辛抱ください。高尾山口先からの N20 もクルマが多いのですが、相模湖駅入口交差点の渋滞区間以外は、ストレスなく走れると思います。

・ Cue2(0.2km 地点) : ここを左折後の最初の交差点を直進しますが、左車線が左折専用レーンかつ、先に左折信号が青になってしまう交差点です。歩道を利用して直進するか、第 2 車線を利用して直進して下さい。

・ Cue6(2.9km 地点) : そのまま直進すると首都高速道へ進んでしまいます。地上にペイントされた「自転車は歩道へ」にしたがい、歩道を走行してください(皇居ランナーや歩行者に注意)。



- ・ Cue11(5.6km 地点) : 左折後、迎賓館前広場を通行します(自転車進入可)。歩行者に配慮して通行してください。



- ・ Cue12(5.8km 地点) : 迎賓館前広場から都道へ出る交差点はガードレールがあり通れないので、歩道を利用して左折。
- ・ Cue15(10.4 地点) : ここを左折後の最初の交差点(第4象限 吉野家)も Cue2 と同じタイプの交差点です。大型バスなどが多いのでご注意ください。
- ・ Cue21(32.1km 地点) : 正面に JR 武蔵野線が通っており自動車は直進できません。キューシートの注意事項欄を参照して直進して下さい。
- ・ Cue24(35.4km 地点) : ここを起点に左折車による長い渋滞が発生しています。Cue23(本宿交番前)に”歩行者優先”の交通標識があることと、近隣住民の自転車利用の実態を鑑みると、推奨は致しませんが、歩道通行が可能と思われます。ただし歩道幅がとても狭いため、最新の注意をもって通行して下さい。
- ・ 65.8km 地点(相模湖駅入口交差点) : ここを起点に渋滞が発生しています。ご注意ください。
- ・ Cue30(72.8km 地点) : 距離稼ぎのため旧甲州街道を進みます。諏訪関所跡がありますが石碑と案内板があるだけです。上り坂のカーブ途中なので素通りしましょう。

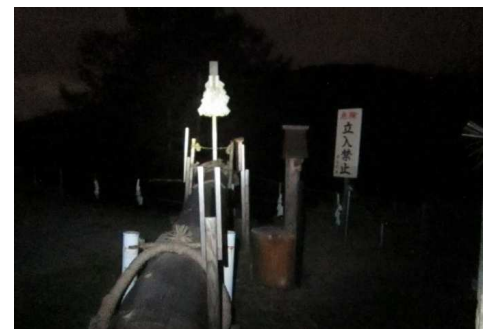


- (2) PC1～通過チェック 1(笹子隧道) 区間距離 : 24.4km
 大月から笹子峠旧道入口までのダラダラとした登坂がシンドイです。笹子峠旧道入口では気持ち良い風が吹い

ていたので 30 分ほど居眠り休憩してしまいました。旧道の笹子隧道までは木陰の気持ち良いクライムが楽しめます。特に注意事項はありません。



- (3) 通過チェック 1～PC2 岡谷 区間距離 : 94.9km
 甲府盆地の暑さと市街地のゴー&ストップが辛い箇所です。韮崎から富士見峠までの 30km の長いクライムが、曇りかつ無風だったのが幸いでした。特に注意事項はありません。
- (4) PC2～通過チェック 2 [木落し坂上] 区間距離 : 13.1km
 岡谷と下諏訪の市街地を通りますが、特に注意事項はありません。



- (5) 通過チェック 2～通過チェック 3 [碓氷峠碑] 区間距離 : 71.1km
 本 BRM の最難所区間です。土曜日の夜で、多くはありませんが大型トラックはそこそこ走っています。試走時には脇スレスレを通過するような無謀トラックはいませんでした。新和田トンネルへの登坂途中に道路脇に鹿の親子がいました。交通量が多い道なので、車道へ出てくることは考えにくいのですが、下りでの衝突は命取りになるので用心して下さい。

- ・新和田トンネル：試走当日は17℃でした。登坂による汗が冷えないよう、トンネル手前でジレやウィンドジャケットを着て防寒して下さい。トンネルの出口までゆるい登りが続くので気を抜かないで走りましょう。
- ・Cue75(261.5km 地点)：道なりに進まず、斜め右方向へ直進して下さい。
- ・Cue80(273.6km 地点)：道なりに斜め左へ進んで下さい。暗くて道路のペイントが見えず、直進してしまいました。
- ・Cue84(281.0km 地点)：ここでコースを離脱。しなの鉄道の御代田駅の北側の7-11で夕食を買って、駅南1.2kmにあるホテル・ルートインコート軽井沢に泊まり、翌朝にCue95(299.0 地点) 通過チェック4 [碓氷峠]までのルートの確認をして、コース前半部の試走を終えました。
- ・Cue87(284.7 地点)：左手に北国街道の起点の追分宿 分去れの道標があります。軽井沢を折り返してから、ここを通りますが、N18を渡るのがたいへんなので、ここで止まっただけでしょうか。



- ・御代田から通過チェック3 [碓氷峠碑] (本来は中山道旧道の旧碓氷峠で折り返すルートでしたが、自転車通行禁止のためここで折り返します)までは、特に注意事項はありません。



通過チェック3 [碓氷峠碑]



通過チェック4 [碓氷峠]

4. 走行記録

- ・Depart 06:00-PC1(大月) 12:01 (Avg. 15.3km/h)
- ・PC1(大月)-通過 CHK1(笹子隧道) 14:32 (Avg. 9.7km/h)
- ・通過 CHK1(笹子隧道)-PC2(岡谷) 20:01 (Avg. 17.3km/h)
- ・PC2(岡谷)-通過 CHK2(木落とし坂上) 21:12 (Avg. 11.1km/h)
- ・通過 CHK2(木落とし坂上)-Cue84(281.0km 地点・御代田駅) 翌01:02 (Avg. 14.8km/h)

B. 後半部(軽井沢 - 新潟)

0. 試走日：2023/9/16,17(土、日)

1. 気象条件

(9/16(土))

- ・軽井沢 晴 20℃
- ・上田 晴 29℃
- ・長野 晴 33℃
- ・妙高高原 小雨 26℃
- ・上越 曇 27℃

(9/17(日))

- ・上越 晴 32℃
- ・出雲崎 晴 32℃
- ・新潟 晴 30℃

2. 全般

PBPで痛めた膝に不安があるので認定試走は見送って、未踏区間の後半の300kmを2日に分けて走りました。標高1,000mの軽井沢以外は、30℃超の暑さでしたが、時間に追われない行程だったので公衆トイレを見つけては飛び込んで水をかぶって涼みました。北国街道は情緒ある風情は少ないのですが、交通量が少なく心穏やかに走れました。

3. 区間ごとの感想と注意点

(1) 通過チェック4(碓氷峠)～通過チェック5(善光寺) 区間距離：82.1km

本BRMの核心部 北国街道を辿ります。北国街道は当初

は加賀大名の江戸への参勤交代の道として栄えたとのこと
です(軽井沢からは中山道で江戸へ向かった)。

軽井沢(標高 1,000m)から長野(標高 360m)までのダウン
ヒル快速区間です。北国街道の海野宿、上田・柳町が見
どころです。一部 N18 を通りますが、静かな旧北国街道
(長野市街近くは善光寺街道を兼ねている)を辿って進み
ます。

- 322.0km 地点：左手に懐古園(小諸城 三之門)が見えま
す。
- Cue106(335.9km 地点)：第 3 象限手前の鉄柵の(往時の
桜並木を偲ぶ)写真パネルが目印。



- Cue140(378.5km 地点)：北陸新幹線と JR 信越本線を潜
る市道は自転車通行不可なので自歩道を利用して進んで
ください。



通過チェック 5 [善光寺]

(2) 通過チェック 5～通過チェック 6(更埴橋北詰) 区間距
離：8.3km

距離稼ぎも兼ね、いったん北国街道(本道)を離れ、北
国街道 松代道(善光寺へ寄らずに北上するバイパス道)
へ合流すべく南下します。長野市街を進みますが、特に
注意点はありませぬ。



通過チェック 6 [更埴橋北詰]

(3) 通過チェック 6～通過チェック 7(高田城 西堀橋)

千曲川を渡り北国街道 松代道(善光寺へ寄らず北上す
るバイパス的な北国街道)を北上し、Cue165(409.4km 地
点)から北国街道(本道)へ合流し、飯綱高原と野尻坂峠の
2つのピークを越えて、北国街道の当初の終点の越後の城
下町の高田へ向かいます。

ルートに分岐が細かく気が抜けませんが、2つのピー
クを越えると高田までの快適なダウンヒルが楽しめます。
Cue171(429.8km 地点)の先の野尻湖畔と Cue176(432.8km)
地点の関川の関所が見どころです。

- Cue179(445.0km 地点)：N18 を外れ高田へ向かうルート
で、住宅街の下りが続きます。歩行者などの飛び出しに
注意してください。



通過チェック 7 [高田城 西堀橋]

(4) 通過チェック 7～通過チェック 8(北国街道 出雲崎宿)

江戸時代には佐渡から江戸へ金を運ぶルートとして、
高田から出雲崎までも北国街道として栄えたとのこと。
国道を辿らず旧北国街道を進むため、Cue188(476.8km 地
点)から出雲崎まではコンビニ 2、3 軒しかありません。特
に注意事項はありません(試走時は Cue188(476.8km) 地
点でコースを離脱し、ルートイン上越に宿泊)。

通過チェック 8

[北国街道 出雲崎宿]



(5)通過チェック 8~Arivee (新潟)

海岸沿いを新潟へ進みます。時折、峠越えのアップダウンがありますが、ほぼフラットです。特に注意事項はありません。

4. 走行記録

- ・通過チェック 3 [碓氷峠碑] 09:30-通過 CHK4(碓氷峠)09:50
- ・通過 CHK4-通過 CHK5(善光寺)14:02
- ・通過 CHK5-通過 CHK6(更埴橋北詰)15:07
- ・通過 CHK6-通過 CHK7(高田城 西堀橋)19:20
- ・通過 CHK7-Cue188(476.8km 地点)20:20、ルートイン上越へ宿泊
- ・Cue188 9:00 - 通過 CHK8(北国街道 出雲崎宿)12:40
- ・通過 CHK8 - Arivee(新潟)17:15

レポート 2 (松島賢太郎)

1日しか空いておらず、AR 日本橋ギリギリ隊の次席メンバーで、走力も落ちているので序盤のみを走りました。

0. 試走日 : 2023/10/1(日)

1. 気象条件 : 曇 南風

2. 区間ごとの感想と注意点

(1) Depart(日本橋小網町)~PC1(大月) 区間距離 : 91.8km

- ・Depart(日本橋小網町) :いつもの木場公園ではないので注意。オフィスビルが多く静かですが、マンションもあります。大きな声を出さないようにしてください。
- ・都心を抜けるまでは、そこかしこで工事をやっています。また左折専用レーンも多いです。
- ・Cue23(34.5km 地点) : N20 に入ると渋滞が予想されます。特に時間の遅い方。考慮して走行計画を立てましょう。
- ・Cue29(59.6km 地点) : 大垂水峠を超えたところで交互通行になっていました。車列を通して最後尾を走るとしばらくは後ろから車が来ないので安全かもしれません。
- ・Cue35(96.8km 地点) : このキューから 3km 程度進んだところにいが栗が落ちていました。秋シーズンは栗パンクに注意。

(2) PC1~通過チェック 1(笹子隧道) 区間距離 : 24.4km

- ・Cue36(110.4km 地点) : トンネル直前左折ではなくその手前の Y 左前方です。旧笹子峠は路面が悪いので注意してください。

(3) 通過チェック 1~PC2 岡谷 区間距離 : 94.9km

- ・Cue37(116.2km 地点) : 旧笹子峠の下りは苔むしているところが各所にありました。路面が濡れている場合滑るかもしれないので注意。

また、N20 合流手前の 1.5km くらいから住宅地に入ります。スピード出し過ぎ注意。特に歩行者がいる場合は十分スピードを落として距離を取って通過のこと。

- ・坂東が前日に試走していることと、雨が降り始めたため、旧笹子峠を下り N20 に合流する Cue38(124.1 地点)で試走を終えて、甲斐大和駅から輪行で帰宅しました。

4. 走行記録 : 確認試走のため省略

沿道の名所案内 (今回は休載します)

下見試走してみたら幾つかありました。車上から一瞥するもよし、気になるスポットなら休憩がてら見学するのも一興です。

0.5L	日本橋 : 五街道の起点。名前の由来は"日本橋川にかかる橋"による。他に大阪市の日本橋(にっぽんばし)、埼玉県加須市の日本橋(にほんばし)、福島県日本橋(ひもとばし)がある。
1.7R	将門塚 : 平安時代の武将 平将門の首を祀る塚。近年、リニューアルされた。
5.6L	迎賓館赤坂離宮 : 1909 年建設、2009 年世界遺産認定。近年より通年一般公開されるようになった。
6.6R	明治記念館 : 明治神宮が運営する総合集宴会施設。美しい庭園には、国歌「君が代」に謳われている天然記念物の「さざれ石」が鎮座している。
7.0	明治神宮外苑 : 内苑(明治神宮)に対して外苑と呼ばれる。苑内には銀杏並木や明治神宮野球場(神宮球場)がある。
7.7L	国立競技場 : 東京オリンピック・パラリンピックで開会式・閉会式・陸上競技の会場となった。隈研吾によるデザインによる『杜のスタジアム』。
8.0	東京体育館 : 2013 年 4 月 1 日リニューアルオープン。東京オリンピック・パラリンピックでは卓球の競技会場として使用された。
8.9L	明治神宮 : 明治天皇と昭憲皇太后を祭神とする。初詣では例年日本一の参拝者数を誇る。
20.8	東八道路 : 三鷹市牟礼と国立市谷保を東西に結ぶ道路の通称。幅員が 30 メートルであることから、30m 道路という別名を持つ。
23.5L	国立海上技術安全研究所 : 海上交通の安全及び効率の向上のための技術などに関する研究等を行っている。略称は海技研。
26.9	野川公園 : 園を東西に東八道路が横切っており、その北側を野川が西から東に流れる。もとは国際基督教大学(ICU) 所有のゴルフ場であった。
28.6L	多磨霊園 : 日本初の公園墓地であり、以後の日本の墓地のありかたのひな型となった。面積は東京ドーム 27 個分

	に相当する。著名人(江戸川乱歩、岡本太郎、田中好子、丹波哲郎、東郷平八郎、夏目雅子、三島由紀夫、山田康雄、山本五十六ら)の墓地も多数所在する。
38.4L	土方歳三資料館：新選組副長である土方歳三の生家跡にあり、歳三の子孫が運営している私設資料館。
51.5R	武蔵野陵：、皇室墓地で大正天皇陵・貞明皇后陵・昭和天皇陵・香淳皇后陵の4陵が造営されている
53.7R	高尾山口駅：京王電鉄高尾線の終着駅で高尾山へのアクセス駅。2011年まで東京-糸魚川ファストランのスタート地点であった。
53.7R	北島三郎像：高尾登山鉄道ケーブルカー清滝駅内に、八王子に邸宅を持ち、2003年からは八王子観光大使を務めている演歌歌手北島三郎の銅像がある。
59.6	大垂水峠：峠名の由来は高尾山から西の城山、城山から南の大洞山を結ぶ稜線の大タルミ(弛み)に位置する峠のためという説がある。
64.5	小原宿本陣：小原宿は甲州街道の9番目の宿場町で難所である小仏峠の西に位置する重要な宿場であった。本陣は参勤交代での諸大名などが使った休憩宿泊施設であり、神奈川県下の本陣の中で唯一現存する建物とのこと。
73.2	桂川：延長109kmの一級河川で下流の神奈川県では相模川となる。山中湖を水源とし、富士山北麓の水を集め富士吉田市、大月市を経て、相模湖と津久井湖(いずれもダム湖)を経て、平塚・茅ヶ崎の境界で相模湾に注ぐ。
75.3km	地点(東山酒饅頭店)：上野原名物。店舗は車道の右側。ここが一番の名店のもよう。
82.0R	コモアしおつ：バブル景気による地価高騰のなか、1987年に積水ハウスが四方津駅北側の山上に住宅地を造成した。山の上に広がる街並みは、南米ペルーの空中都市マチュピチュになぞらえて「山梨のマチュピチュ」と言われる。宮崎駿監督の映画「千と千尋の神隠し」の冒頭のイメージロケ地になったとされる。
92.5R	猿橋：桂川に架かる刎橋(はねばし：江戸時代の日本に存在した架橋形式)。日本三奇橋の一つとしても知られ、甲州街道に架かる重要な橋であった。
96.3R	JR 大月駅：JR 東日本の中央本線と、富士山麓電気鉄道の富士急行線(大月線)が乗り入れており、富士急行線は当駅を起点としている。大月の由来は当地に群生していた大槻(ケヤキの別名)を発端とし、その後寛文検地の際、駒橋(今の大月橋)より見た月がひととき大きく見えたところから「大月」となったと言われている。
107.9L	笹一酒造：1661年(寛文元年)創業の300年を越す歴史を持つ蔵元。その名「笹一」の笹は酒を意味し、一は酒の日本一を目指すという思いを込めて命名された。
114.9L	矢立の杉：甲州街道最大の難所といわれた笹子峠に残る樹齢1000年を越す巨樹であり、かつて出陣する武士がこの木に矢を射立てて戦勝を祈ったと記されている。
116.2	笹子隧道：1936年(昭和11年)に着工、1938年(昭和13年)に開通。全長239メートル。笹子峠(標高1,096メートル)の直下を貫いており、両坑口の付近に峠へ通じる登山道の入口がある。1997年に登録有形文化財に登録された。坑門上部の持送状装飾に加えて、大月市側の坑門両脇に2本並びの柱形装飾が施されるなど特徴的な意匠を持つ。
135.2R	桔梗信玄餅 工場テーマパーク：甲府名物の桔梗信玄餅の

	工場見学ができる。「社員特価販売 1/2」と称される信玄餅のアウトレット販売などもある。
154.4L	日本航空高等学校：「航空科」が設置されており、パイロット、航空整備、キャビンアテンダント養成などの学科がある。
159.7R	七里岩：山梨県・韮崎から長野県の富士見峠まで30kmに亘る台地。八ヶ岳の崩壊と釜無川の侵食により形成され、川沿いに高さ10mから40mの断崖が連なる。N20は釜無川沿いを西進するが、台地の上はおおむね平坦であるため、JR中央本線や中央自動車道は七里岩へ登っている。
173.6	台ヶ原宿：江戸と諏訪を結ぶ甲州街道の40番目の宿場町。かつては本陣、脇本陣、14軒の旅籠を中心に宿内に総家数153軒が並んだ。現在も当時の旅籠や商家の面影がしのばれる街並みが残されており、「日本の道100選」のひとつにも選ばれている。
182.9	鳶木宿：甲州街道の42番目の宿場。甲州街道が釜無川を越え信州に入って最初の宿場。
205.5	諏訪大社上社本宮：諏訪湖周辺に4か所にある神社(上社・本宮、上社・前宮、下社・秋宮、下社・春宮)の一つで、全国一万有余の諏訪神社の総本社にあたる。社殿は諏訪造りという独特の様式で、他にも徳川家康が造営寄進したと言う四脚門など貴重な建造物が多く残っている。
211.9	諏訪湖：諏訪盆地に位置する長野県内最大の湖沼で、湖南西部から天竜川が流出する。標高は759mあり、かつては冬期に全面氷結しワカサギの穴釣りでも賑わった。
220.1	諏訪大社下社秋宮：日本最古の神社の一つともいわれ、狩猟・漁業の守護祈願でも知られる。毎年8月・翌1月に祭神が祀られているため秋宮とよばれている。
224.2	木落とし坂：七年に一度執り行われる御柱祭の山出し最大の難所。傾斜35度長さ100mの急坂を一気に曳き落とされる様は「男見るなら七年に一度諏訪の木落とし、坂落とし」とうたわれる。
231.7	新和田トンネル：和田峠付近(国道142号旧道)をバイパスする目的で開通した全長1,922mのトンネル。2022年4月より無料開放された。
254.7	笠取峠(かさどりとうげ)の松並木：旧中山道および国道142号の峠。標高は900m。旅人が上り坂で暑さと疲れのあまり、皆いつの間にか笠を取っていることから笠取峠と呼ばれるようになった。松並木が残り往時の面影を留めている。
262.8	望月宿：中山道六十九次の25番目の宿場。国の重要文化財の出桁造りの旅籠「真山さなやま家」(大和屋)、映画「犬神家の一族(1976年)」にて金田一耕助が滞在した井出野屋旅館などが残る。
284.6R	中山道69次資料館：書籍「中山道69次を歩く」、北国街道を歩く著者の岸本豊氏が館長を務める資料館で、日本橋から京都三条大橋までの道中や宿場町の変遷などが展示されている。
284.7L	追分宿 分去れの道標：北国街道の起点であり、中山道と北国街道の分岐点でもあった。
284.9	追分宿：中山道六十九次の20番目の宿場。油屋(旧脇本陣)、浅間神社、泉洞寺、堀辰雄文学記念館、シャーロックホームズ像などが見どころ。

231.7	新和田トンネル：和田峠付近（国道 142 号旧道）をバイパスする目的で開通した全長 1,922m のトンネル。2022 年 4 月より無料開放された。
299.0	碓氷峠：群馬県と長野県境にある標高 956m の峠。信濃川水系と利根川水系とを分ける中央分水嶺である。
322.0R	懐古園(小諸城 三之門)：城下町よりも低地に築城された穴城。戦国時代に武田信玄の東信州平定として機能した。現在は市立動物園、藤村記念館、懐古神社などがあり、日本さくら名所 100 選、また紅葉の名所として知られる。懐古園の入り口は、旧三の門を利用しており、徳川家達の筆による『懐古園』の扁額が掲げられている。
332.8	海野宿：北国街道の 4 番目の宿場。延長 650m、幅 10m の旧北国街道の両側には、旅籠屋造り、蚕室造り、茅葺屋根などの歴史的な建物や「表の川」とよばれる用水堰が残っている
340.9	富士アイス 上田店：志"まん焼き(大判焼き)100 円、ソフトクリーム 200 円。歩道にベンチ 2 つあり。寄っていきましょう。
341.6	上田宿 柳町：観光地然としているが、見どころが少ない北国街道の貴重な見どころスポット。
381.1	善光寺：創建 1400 年。昔から多くの人々が日本中から善光寺を目指して参詣し、「一生に一度は参れ善光寺」と言われた。善光寺如来を本尊とした特定の宗派に属さない無宗派の寺で、七年に一度の御開帳に、金銅阿弥陀如来及両脇侍立像（前立本尊）が公開される。
389.4	千曲川：長野県南佐久郡川上村の甲武信ヶ岳の長野県側斜面を源流とし、新潟市で日本海に注ぐ全長 367 キロメートルの日本で一番長い河川。源流側 214km は千曲川、河口側と 153km は信濃川と呼称される。
460.5	野尻湖：斑尾山と黒姫山に挟まれた標高 654 メートルの高原に位置し、長野県では諏訪湖に次いで 2 番目に大きい湖。ナウマンゾウ化石や旧石器時代の遺物が出土した。
434.5R	関川関所：越後と信濃の国境に位置し、戦国時代に上杉氏が開いた関所を、江戸幕府も北国街道の要衝として継承した。高田藩の南境にあたるため「女改め」が実施され、碓氷関所の「入鉄砲」の監視とともに重要な役目を果たした。
466.5	高田城：高田平野に築かれた平城で、徳川家康の六男、松平忠輝（越後少将家）の居城として造られた。60 万石の大名の居城であるにもかかわらず、関川、青田川など河川を外堀として利用し石垣は築かれなかった。
537.2	出雲崎宿：北国街道の終着地。江戸時代には幕府直轄の天領地として佐渡島から金銀荷揚げの地として栄えた。
552.5	寺泊・魚の市場通り：海鮮物の販売店や飲食店が立ち並び。上野アメヤ横丁のような様相なので素通りしました。
599.8	旧新潟湊：正面へ進んだ"みなとびあ"近辺が、かつての新潟港とされており、新潟市による観光案内では北国街道の終点とされています(モニュメントはありません)。 中山道 69 次資料館にて、館長であり"北国街道を歩く"著者の岸本 豊氏に訪ねたところ、新潟市による我田引水(観光振興のため都合よく解釈した)によるもので、一般的には、北国街道は追分宿から高田までを称し、江戸幕府による佐渡金山の発見後に高田から出雲崎まで延長され

たものであるとのことであった。
